

科目名	<h2 style="text-align: center;">集団健診論 (がん専門医師養成科目)</h2>		
科目責任者	藤野善久	(環境疫学 教授)	
担当者	大河原真	(環境疫学 助教)	
開講時期:	1年次	単位数:	0.25 単位
		時間数:	90分× 2回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>健康診断結果は個人の健康管理に役立つ目的とは別に、職域の健康管理対策として、疾病予防や健康増進対策を企画・立案し実行する際のベースライン情報を得る目的がある。すなわち集団として評価する別の目的があることを理解し、そのための方法を理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 健診と検診の違いおよび職域健診の意義と法的根拠が説明できる。</li> <li>2) 集団健診におけるテーマを見出すことができる。</li> <li>3) 集団健診におけるデータ収集、整理、分析、解釈する際の疫学的方法論を説明できる。</li> <li>4) 集団健診におけるスクリーニングテストの有効性評価の方法と意義を説明し、データの解釈ができる。</li> <li>5) 集団健診における医療経済学的評価の方法と意義を説明し、データの解釈ができる。</li> <li>6) 集団健診の評価を通じた保健医療施策の提言が行える。</li> </ol>			
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度40%、課題レポート20%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		